

平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査 結果と今後の取組について

津山市立 南小学校

教育目標(めざす児童生徒像)

たくましく伸びる子の育成
 ○考える子
 ○やさしい子
 ○明るく元気な子

今年度の指導の重点

- ①基礎学力・表現力の向上
- ②「生きる力」の育成
- ③基本的生活習慣の確立
- ④認め合い支え合う仲間づくり
- ⑤人権教育の推進
- ⑥健康・体力の増進

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)

【学力状況調査の結果】

○国語A・B、算数A・B共に県の平均より低い。
 ○国語Bに関しては「読む能力」の平均が低い結果となった。その中でも「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして読む。」という出題趣旨の設問が低い結果となった。(本校27.3%、県53.8%)
 ○算数Aに関しては、計算領域の平均が高い。しかし、「数量関係」に課題が見られる。その中でも「1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量を理解している。」という出題趣旨の設問が低い結果となった。(本校44.5%、県45.5%)

【学習状況調査の結果】

○1日当たりの読書時間の肯定的な児童が県や全国に比べて高い。
 ○「学校の授業時間以外(土日)に、1日あたりどれくらいの時間、読書しますか。」という設問では、肯定的回答率が大変高い。反対に「学校の授業時間以外(月～金)に、1日あたりどれくらいの時間、読書しますか。」という設問では県に比べて肯定的回答が低くなっており課題が見られる。
 ○「1日当たりのテレビの視聴等」は、県に比べて視聴時間が平均的に多い。

成果と課題

【成果】
 ○国語では「話す・聞く能力」は県・全国より平均が高い結果となっている。
 ○算数において計算の力はついてきている。(7問中4問が県・全国より平均が高い)
 ○国語・算数共に漢字・計算は身につけてきた
 【課題】
 ○国語においては、「中心となる内容をつかむ。」「相手の意図やねらいを適切に理解する。」「自分の考えを理由を明らかにして書く。」ことに課題が見られる。
 ○算数において、「面や辺の位置関係など(面積全般)」「式の意味を解釈して説明する。」「基の捉え方(割合)」に課題が見られる。
 ○読書時間は徐々に増えてきてはいるが、一日あたりのテレビ視聴時間が長いことが課題となる

課題に対応した改善方法

○朝学習において、算数のデータベースの問題を繰り返し取り組み苦手問題を克服していく。
 ○朝学習において「漢字週間」「計算週間」など集中して取り組む期間を決め基礎基本の定着を図る。
 9月…弱点克服 10月…図形 11月…数量関係
 ○「国語α」を使用し、たくさんの文章に触れさせる。
 ○「ことわざ月間」に取り組み、ことわざを集めそれを用いて言葉をことわざを覚えるだけではなく適切に用いることができるようにする。 ○算数の
 「図形領域」では、具体的な操作活動(特に低学年)を行う。
 ○学力・学習状況調査の問題(特にB問題・記述式)をチャレンジタイムで取り組む。(一度解いたものを、答え合わせをしよう一度解き直す。繰り返し行うことで適切な記述の仕方を身につけていく。)
 ○校内研究等で児童が適切に文章が書くことができるように、教師が実際に解いて解答の分析をする。その分析を授業改善に取り入れる。
 ○自学ノート(めあて・まとめ・振り返りを記述する。)を掲示し、児童が意欲的に自主学習を行うことができるように啓発する。
 ○ノーメディアや家庭学習のきまりなどを保護者に向けて啓発する。また、学級懇談会でも取り上げる。

達成目標(数値目標)

○県平均との差を各設問10%以下にする。
 ○無回答率を各設問7%以下を目指す。

○ノートの記述の仕方を交流する(まとめ・振り返り・自分の考え)。(10月)(2月)
 ○記述式応用問題の実施(前学年の問題)(10月初旬)(10月下旬)
 ○チェックテストの実施(11月)(2月)○国語αを10分間で自力で解ける児童を学級の7割にする。(11月)